

# 公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集

曾野木地区公民館の

「子どもの居場所づくり」事業のとりくみ

4.5

2 トピックス 平成19年度新潟県公民館関係役員等研修会兼新潟市公民館職員等研修会開催案内

3 視点 公民館長とミニバスケットボール

3 ひろば 公民館活動雑感

6 実践記録シリーズ きらら塾

7 サークル交流 華に癒されて(湯沢町) / 楽しく踊ろう(南魚沼市)

7 素顔拝見 田村 尚子さん(燕市) / 岡田 太一さん(上越市)



「妙高山といもり池(冬)」 妙高市

表紙解説 妙高では、雪原を歩くスキーやスノーシューを使って散策し、雪の世界の素晴らしさに触れることができます。

# 平成19年度新潟県公民館関係役員等研修会 兼新潟市公民館職員等研修会開催案内

研修テーマ：人生の新学期を公民館で始めよう!! ～団塊のパワフル世代を公民館に～

## 1. 趣 旨

通称800万人を超えるといわれる昭和22～24年生まれの、いわゆる「団塊の世代」の大量定年退職がいよいよ本格化してまいりました。

早くから2007年問題といわれ、私ども新潟県公民館連合会でも、その対応に腐心していたところであり、後れ馳せながら今回、新潟県教育委員会並びに新潟市教育委員会のご理解・ご支援を得て、県公民館大会費の代替執行研修会として企画・開催することとなりました。

今研修会では、千葉県並びに新潟県内の取組実践事例に学び、そして総括・講演では、企画・立案の考え方等の方向性を示していただくこととしております。

2. 主 催 新潟県公民館連合会

3. 共 催 新潟県教育委員会 新潟市教育委員会 下越地区公民館連絡協議会

4. 主 管 新潟市公民館 県・下越公連事務局

5. 後 援 新潟県公民館振興市町村長連盟

6. 日 時 平成20年2月27日(水)午後1時30分開会

7. 会 場 新潟市生涯学習センター「クロスパルにいがた」  
〒951-8055 新潟市中央区礎町通3ノ町2086番地 TEL 025-224-2088 (代表)

8. 参加者 公民館役員 公民館運営審議会委員 社会教育委員 公民館活動協力員  
生涯学習関係者等 150名以内

9. 日 程 12:30 13:30 13:40 15:10 15:20 16:40 16:50

|    |      |               |    |       |    |
|----|------|---------------|----|-------|----|
| 受付 | 開会行事 | 事例発表<br>質疑・討議 | 休憩 | 総括・講演 | 閉会 |
|----|------|---------------|----|-------|----|

## 10. 事例発表・討議

「団塊世代への取組・実践」(入門篇)

コーディネーター 聖徳大学教授 福留 強様  
 (1)千葉県酒々井町中央公民館長 浅野恵美子様  
 (2)加茂市公民館長 佐藤 俊夫様  
 (3)新潟市中央公民館主査 佐藤 功様

## 11. 総括・講演

演題 「人生の新学期を公民館で始めよう」

聖徳大学生涯学習研究所 所長  
 同大学人文学部教授 講師 福留 強様

12. 参加費 無料

## 13. 問合せ

おかげ様で定員に達しましたので、締め切らせていただきます。

上・中・下越地区市町村公民館関係者は  
 〒951-8053 新潟市中央区川端町2丁目9番地  
 新潟県林業会館内  
 新潟県公民館連合会事務局へ  
 TEL・FAX 025-224-6073

## 案 内 図



### 交通案内

JR新潟駅万代口より  
 徒歩 20分程度  
 バス 古町方面行き 礎町又は本町下車 徒歩3～5分

### 駐車場(30台)

利用料金：最初の30分無料。以後30分毎に150円

# 視点

## 公民館長とミニバスケットボール

新潟市小須戸地区公民館  
館長

杉本 昭彦



ミニバスと公民館長。変な取り合わせかも知れませんが館長(非常勤嘱託勤務)になって一年足らず、地元の小学校で教育ボランティアとしてミニバスを指導して7年目になります。今年度は勤務のかたわら、時間を調整しながら週に3回程度小学生と楽しくスポーツで汗を流しています。青少年の心身育成のためにスポーツの果す役割は非常に大きいという思いから老骨に鞭打っています。時には中学校にも出向き、バスケットの指導をしたりしていますので

地域の小・中学校との関係も親しくなっています。また、地元の新潟南高校とは、小須戸地区市民展において高校生の作品を出展してもらったり、公民館主催事業の「新潟南高等学校開放講座」において、地域住民が10回の講座で高校教諭の講義を聴くなど学社連携がやりやすい環境にあるといえます。今後、このような環境のもと、公民館活動の中で青少年とどのように関わっていくことができるのか、新しい事業を模索したいと考えています。

# H O T N E W S 掲 示 板

## 新潟県社会教育団体懇話会事務局長会の開催

- 1 日時 平成20年1月25日(金) 午後2時から4時30分まで
- 2 会場 県立生涯学習推進センター 11人出席(大研修室)
- 3 来賓 新潟県教育庁生涯学習推進課 本間副参事様 新潟県立生涯学習推進センター 風間課長様
- 4 内容
  - (1)「新潟県生涯学習推進プラン」について(意見交換を含め約40分程度)
    - ・県生涯学習推進課より説明
    - ・意見交換
  - (2)情報交換(全体で約60分程度)
    - ・別添“事務局長会資料”に基づいて情報交換
  - (3)県生涯学習推進課並びに県立生涯学習推進センターからの情報提供
    - ・平成20年度の重点事業等の見直しについて(両者で約30分程度)
  - (4)その他

## 公民館活動雑感

阿賀町社会教育委員長 安藤 恒

当公民館の子どもたちを対象にした活動の一端を紹介したい。特に、よりよい人間関係の育成という面から種々の体験活動を企画している。

その活動をとおして、時々気になる「つぶやき」

「きにならぬ…」

「無理…。」

などの声…声。またそれを見て手を貸してくれる子どもはまれである。そんな声を聞いて思うことは、体験活動の不足により、苦勞してやりとげた喜びを味わったことが少ないのではないかと痛感する。

少子化の影響もあるのか、あまりにも大人が手を出し過ぎ、子どもたちの創意・工夫、あるいは協働の

すき間のない献立で、「さあ食べなさい。」的なものになっていないか、見直していかなければならないのではないかと。

どんな体験をさせるかではなく、時には自分たちのやりたいことを自分たちで考え、そしてそれが日常生活に何らかの形で結びつく計画が大切であると考え、子どもたちが創意、工夫したり、助け合い協力を仕組んでおこなう場面を仕組んでおくことが大切である。



# の「子どもの居場所づくり」

らう。それもまた刺激的なことである。今年度は高校生の参加もあり、小・中・高と年齢は違ってもドラムを通じて同じ時間を共有し、ミニライブという形で大勢の前で発表することは、子ども自身の自信につながっていると思う。



ドラム体験

### 3. 今後の課題

課題のひとつとしては、各館で取り組む「居場所」、その存在の広がりだと思っている。本来、社会教育施設の中で「子どもの居場所づくり事業」が展開されているが、子どもたち自身が生活の一部として、居場所に来て様々な人と出会い、様々な体験をしていくことができるということを、より広く子どもや地域のおとな達へ周知していかなくてはならない。それと同時に、子どもに関わるおとなの接し方についても常に検討を重ねていく必要があると考える。おとなの経験や価値観を押し付けることなく、子どもの声に耳を傾けられるよう、子どもの自主性、自発性を大切にしながらルールやマナーを共に考え、次の活動へとつなげていくことができたと思う。また、当館では現在フリースペースボランティアスタッフ4名(うち2名は公民館活動協力員)が職員と連携・協力を図り、子どもたちと一

緒にトランプ・オセロ・将棋・クイズ(館長自作)をしながら過ごしたり、学校での様子や最近の話題について話をしている。おとなの暖かい目で子どもたちを見守ることで、子どもとの信頼関係も生まれ、子どもたちから感謝の言葉も寄せられてくる。この子どもたちを見守るボランティアスタッフの確保も重要な課題のひとつである。

曾野木地区公民館  
のみなさんへ  
みなさんいつもありがとうございます。  
やさしく声をかけてくれたりしてくれてありがとうございました。  
公民館は、とても楽しい場所です。  
これからもよろしくお願いします。

曾野木地区公民館  
のみなさんへ  
みなさんいつもありがとうございます。  
毎日来て楽しくて嬉しくありません。  
とっても嬉しいです。  
これからも  
よろしくお願いします。  
♡♡♡

開設当初は中高生対象の居場所が、今は、隣に小学校があるということもあってか、子どもたちの多くは小学生が中心になっている。その小学生が年齢を重ね、成長してまたここを思い出して遊びに来てくれていることは嬉しい限りである。

時々自主学習ということで、平日の午前中必死になってノートをとっている中高生もいる。かなり長い時間、鏡とにらめっこの中高校生もいる。そんなときは暖かい飲み物と一緒に一声かける。そうするとにっこり笑いが返ってくる。飲み終えたカップを自分で洗い、帰っていく。こんなやりとりがいつまでも続き、この居場所が子どもにとって本当に居心地いい場所であってほしいと願っている。それには先ず、職員の一人ひとりが子どもの視点に立ち、見、聴き、考えられるようになってはならないと痛感する。

# 特集

# 曽野木地区公民館 事業のとりくみ



新潟市曽野木地区公民館  
嘱託 小池恵智子

～土曜日の午後、ドタドタと5～6人の子  
どもたちが2階のフリースペースへやってくる。椅子に鞆を放り投げ、ゲームのことなど  
楽しそうに話し始める。見れば髪は今しがた  
降った雨にぬれ、しずくが落ちている。「ほら  
ほら」とタオルを数枚差し出す。「ありがとう」  
と一言。たいした言葉もかわさないままタオル  
で頭をふき、また話が続く。なんのことは  
ない、いつもの土曜日の午後である。こうやっ  
て5年の月日が流れている。～

## 1. はじめに

新潟市曽野木地区公民館の居場所づくりの  
取り組みは、平成14年公民館運営審議会にお  
いて「中学生対象事業の実施について」の提  
案を受けて、その年に中学生を対象にしたア  
ンケートを実施し、そのアンケートをもとに  
予算を計上し、平成15年よりスタートした。

当時の子どもたちからのアンケートでは、



フリースペース

「自由に仲間と話をしたり、のんびりできるス  
ペースが欲しい。」という希望が多く寄せられ  
ている。と同時に、文部科学省の「子どもの  
居場所づくり新プラン」や、新潟市公民館全  
体で、「子どもの居場所づくり」事業の展開が  
できないかということも含め、その取り組み  
が動き出した。それは、公民館という様々な  
人の集まる場で単なる場の提供だけではなく、  
「居場所」という、新たに作り出した場で子ど  
もとおとなが、どう関係を作っていくかとい  
う「関係づくり」の始まりであった。

## 2. 事業の内容

### 平成19年度 子どもの居場所づくり事業

| 対象 | 事業名                      | 実施時期  |
|----|--------------------------|-------|
| 少年 | フリースペース<br>「そのとびあ」       | 4月～3月 |
|    | ドラム体験教室                  | 8月    |
|    | 学習室開放事業<br>(春・夏・冬休み期間中)  | 7月～3月 |
|    | 土曜日学習室開放事業<br>(フリースペース時) | 4月～3月 |

### ■ドラム体験教室

ドラムの体験を通じて異年齢の子どもの仲  
間づくりと、居場所に関心をもってもらえる  
ような機会を提供していくという目的で開催  
している。持ち込んでもらった2台のドラム  
で練習をする。初めてドラムに触れる子ども  
も多く、両手・両足がなかなか思うようにい  
かないが、1回1時間の練習を4回ほどやると  
徐々に慣れ、上手く叩けるようになってくる。  
ミニライブと称し5回目には発表会を行  
う。発表会では、ご両親やおじいちゃん、お  
ばあちゃん、お友達など多くの方々が聴きに  
来てくださり、生のドラムの演奏を聴いても

# 実践記録

119

シリーズ

## きらら塾

神林村教育委員会 生涯学習課 社会教育係 八藤後卓也

### 1. きらら塾の概要

神林村教育委員会は青少年事業『神林っ子なんでも探険隊』を運営し、子どもたちの体験活動を行ってきた。しかし、平成15年に設立された『かみはやし総合スポーツクラブ希楽々』の運営するジュニア事業と活動理念が同じであるため、内容や日程が重複し、住民へ支障が生じた。これを改善するために、平成18年度から住民の力を生かす希楽々をグラウンドとして新屋「きらら塾」が誕生した。

その結果、対象となる子どもたちの活動が明確化されるだけでなく、入会費や事業内容がスマートとなり、保護者への負担も軽減することができた。また、単一種目に陥りがちな子どもたちの参加も増え、様々な体験の空間となっている。

事業については、1年目は5回にセーブしたものの2年目には9回に跳ね上がり、定着しそうである。会員については、奇特的な活動内容が好評となり、2年目には約40%増加し100名超となった。

### 2. 活動目的

「心と体の健康づくり」「仲間づくり」「夢を見つける空間づくり」を目指す。



### 3. 活動内容 (平成18～19年度)

| 開催日        | 事業名 (テーマ)         | 内容                               |
|------------|-------------------|----------------------------------|
| H18. 6. 11 | 「作る・工夫」ものづくり      | ブーメラン・豚汁作り、ブーメランを使ったゲーム          |
| H18. 8. 6  | 「厳しさ」海上保安部で指導を受ける | 海上保安部見学、海上保安部巡視船乗船、海上自衛隊護衛艦乗船    |
| H18. 11. 9 | クリスマスパーティ準備       | キャンドル作りなど                        |
| H18. 12. 3 | 自分たちで作るクリスマスパーティ  | スイーツ作り (ケーキ等)、リース作り、クリスマスソング合唱など |
| H19. 2. 25 | 「心技体」1年間のおさらい     | 1年間のおさらいクイズ、新体力測定など              |

|             |                 |  |
|-------------|-----------------|--|
| H19. 4. 15  | 開塾式 科学に挑戦してみよう! | 水上ダッシュ (ダイラタンシー現象 <sup>※</sup> を応用)、シャボン玉の中に入るなど |
| H19. 5. 20  | 酪農体験を挑戦してみよう!   | 牛の心音を聴く、搾乳体験 バター・ジェラート作り                         |
| H19. 6. 17  | 工作に挑戦!          | ジャイロX・カリンバ作り                                     |
| H19. 7. 15  | 災害レスキュー体験! (中止) | 地震車体験、濃煙体験、救助体験、放水体験                             |
| H19. 8. 25  | オリエンテーリングに挑戦!   | 森林公園でのオリエンテーリング しおり・竹笛作り                         |
| H19. 10. 14 | 手話に挑戦!          | 手話を使って自己紹介 手話ソングを歌う                              |
| H19. 11. 25 | テーブルマナー講習会      | ホテルでのテーブルマナー講習会                                  |
| H19. 12. 15 | 私のおせち料理を作ろう     | お正月のおせち作り  |
| H20. 2. 24  | 子どもまつり          | 1年間のおさらいクイズ おせち作り、手話ソング発表                        |



※岩石に力を加えると、岩石の内部に多数の微小な割れ目が生じて体積が膨張する現象

### 4. 課題

当日のスタッフ不足、保護者によるイベント会場の補助、各学校における会員数の差などが挙げられます。そして、来年度の市町村合併により、会員の構成や人数がスケジュールにどう影響するかが心配されます。

### 5. 今後の活動について

これからきらら塾を企画運営する中で、様々な活動を通して、子どもたちに専門的な知識と経験を伝えられるような体験の場にしたいと考えております。さらに、体験して終わりではなく、それを応用する内容を盛り込んだ総合的な活動を考えていきたいと思っております。

華に癒されて

お華に親しむ会

サークル活動を始めてから二年が過ぎようとしています。今年度は、町民文化祭にも会員全員で初めて出品することができました。

月二回(第二木曜日、第四木曜日)の活動では、四季を通じて家の中に生花を愛でることができ、生花の優しい雰囲気と季節を思い、心がなごんでいます。

また、年度始めの一年の活動計画づくりでは、昨年より今年と町民文化祭参加作品の



ための技術の向上を目指し、県内外の生花展覧会の見学も予定しております。

小さなサークルですが、お華に親しみ、「癒され」・「楽しく」・「学び」・会員の親睦を深めてサークルを継続して行きたいと思えます。

湯沢町 お華に親しむ会  
代表 高橋千恵子 記



楽しく踊るUJ

USJUC(Unonuma Step Up Crew  
ウオヌマステップアップクルー)

USJUCは初心者向けのストリートダンスサークルです。子どもから大人まで年代を問わず踊っています。公民館で期間限定のストリートダンス



教室を行ったことがきっかけで、その受講生が中心となりサークルが誕生しました。「完璧に踊る」というよりも、「完璧に楽しむ」ということ、楽しむことを意識して練習をしています。

最近、TVなどでストリートダンスを目にする機会が増え、興味を持つ方々も多いですが、教えてくれる人がいない、一緒に踊る人がいない、難しそう…。となってしまう、なかなか初めの一步が踏み出せないようです。このサークルが、そんな人たちの手を引くばってダンスの楽しさを伝えることができた嬉しそうです。

南魚沼市・USJUC  
講師 深田 陽作 記

上越市教育委員会の若手のホープ岡田太一君。彼は上越市教育委員会中郷区分室で、主に生涯スポーツを担当しています。

雪が多い中郷で生まれ育った彼の特技は、なんと言ってもスキー。地元スキー育成会で指導するほどの腕前で、公民館事業のアルペンスキー教室にはスタッフ兼講師の立場で参加しています。

上越市教育委員会中郷区分室  
主事 岡田 太一さん



スキー育成会で鳴らした腕を存分に振るってる教え上手な彼。何か秘訣があるのかな?と思ったら、保健体育の教員免許持っていました。聞けば納得です。

そんな指導の下地がちゃんとしている彼は持ち前のタフさとバイタリティで飲み会の時でも皆を引っ張る存在。頼りになります。

(上越市教育委員会板倉区分室 主事 石曾根 亘 記)

「いつもお世話になりました田村です。」としなやかな言葉づかいでお客様に接しているのが、燕市中央公民館の田村尚子主任です。燕市合併前、吉田町職員時代の大部分を保育士として勤務した関係からか、やさしく子どもに話しかけるような物言いが、担当している市民教養講座の講師や講座生に好評です。持ち前の元気と明るさで、自分の担当以外の事業にも協力を惜

燕市中央公民館

主任 田村 尚子さん



しまない頼もしさですが、小耳に挟んだところ、最近の趣味が最愛の旦那との「グルメ」と云うこと…そういえばこのごろ頻りにチョコレートや流行のお菓子が我々にも配られるが…もうそんなに〇〇ないんだらか、グルメは卒業してください。今のままのスラリとした体型で、来館者に微笑みと幸せを、日々思う今日このごろです。

(燕市中央公民館長 安藤 尚久 記)

素顔拝見

# Network

ネットワーク

好評につき アンコール講演会決定!

## しあわせ脳に育てよう

講師：(株)感性リサーチ代表取締役  
黒川 伊保子

日時：3月2日(日) 13:30~15:45

会場：長岡リリックホール

参加費：無料

定員：450名 ※就学前のお子さんは入場できません。

申込み：電話025-284-6110

(県立生涯学習推進センター)

※先着順、定員になり次第締め切ります。



平成19年度特別企画 第二弾! 映像フォーラム

## 写真家 天野 尚が語る『世界の秘境を行く』 ~ボルネオ・マリアウ盆地と西アフリカ~

●3月16日(日) 13:00~14:30

●県立生涯学習推進センターホール

●入場無料 ●申込不要 ●先着順(222名)

●問い合わせ先 TEL025-284-6110

### 《天野 尚 氏のプロフィール》

- ・1954年、新潟県西蒲原郡巻町(現：新潟市西蒲区)生まれ
- ・株式会社アクアデザインアマンノ 代表取締役
- ・天野氏は、1975年より、アフリカ諸国、インド、南西諸島などを訪れ生態写真やエッセイを発表。以来、世界三大熱帯雨林(アマゾン、ボルネオ、西アフリカ)において「最初の風景」をテーマに大判カメラで撮影に取り組んできた。
- ・16年前から海底40メートルから標高1000メートルを超える佐渡の自然や誰も知らない原始の森を撮り続けている。写真家として、またアクアリウムの第一人者として豊富な経験をもとに、自然環境保護と保全、更に佐渡に存在する「にいがたの自然遺産」を、貴重な映像とともに県民に問いかけている。

## 恵贈資料紹介

### 下越地区社会教育主事等会

テトラポット第23号  
入手も遅れ、紹介も遅れました。ダブル遅れです。実績と伝統を誇る下越社教主事等会刊「テトラポット」第23号、早速内容紹介させていただきます。

◇実践記録と◇随想の大きな分野で構成されております。今回、印象に残ったレポートは、新潟市の一公民館28館に公共施設予約システムを導入「です。予約システム検討委員長で、前黒埼地区公民館長の大関洋一さんは「発想の

転換を行い、戦略ビジョンを認定、前向きに取り組み、ピンチをチャンス!に実現した」と述べておられます。合併地区の公民館めぐり、法令面の検討、定期予約の回数制限、



市民説明会に向けての入念な準備、パソコンやインターネットが苦手な市民への配慮等、和やかに丹念な準備状況がうかがわれます。そして、導入後の状況は、案ずるより産むが易しでした、とまとめられています。また「団塊の世代を狙え!!」新潟市中央公民館佐藤功さんの先取り事業も、大変参考となりました。

また「団塊の世代を狙え!!」新潟市中央公民館佐藤功さんの先取り事業も、大変参考となりました。

## event information

平成20年2月の催物ご案内

2月24日(日) もうすぐ春! 残り少ない冬の1日を科学館で

### ウインターミュージアム ~冬を楽しもう!~

#### かんじき、みのかさ体験会

雪国で古くから使われてきた「かんじき」「みのかさ」を着て、疑似雪中を歩いてみよう。写真撮影もできます!

- 時間 10:00~16:30 (12:00~13:00は休憩)
- 定員 なし ■料金 入館料のみ
- 場所 エントランスホール

#### 冬のお天気講座 ~冬の天気をみてみよう~

講師を招いて、冬の天気(天気図)の特徴などを紹介します。

- 時間 13:30~14:30
- 定員 50名(当日受付)
- 料金 入館料のみ(雲の写真プレゼント)
- 場所 講堂

#### 切り絵で雪の結晶を作ろう

美しい模様をもつ雪の結晶(六角形)をイメージして折り紙で結晶を作ろう。

- 時間 ①13:00~13:15 ②14:00~14:15 ③15:00~15:15
- 定員 各24名(小3以上。未満は保護者同伴)
- 料金 入館料のみ
- 場所 サイエンスラボラトリー

#### ガイドツアー『にいがたの暮らし』

講師を招いて、豪雪地域で知られる新潟県における暮らしの知恵などについて紹介します。

- 時間 ①11:30~11:45 ②13:30~13:45 ③15:30~15:45
- 定員 各20名 ■料金 入館料のみ
- 場所 新潟の移り変わりビデオライブラリー脇

お問い合わせ先 新潟県立自然科学館 電話(025)283-3331 FAX(025)283-3336

27日は、午前には県公連理事・評議員会を合同で開催、午後は県公連役職員等研修会が予定されております。午後の研修には多数参加されることになり、喜んでおります。県北の市町村合併で一段落、しばらくは運営も安定するかと思えます。(鈴木 記)